

人が育つ会社をつくる 全4回 (講師:慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 高橋俊介)

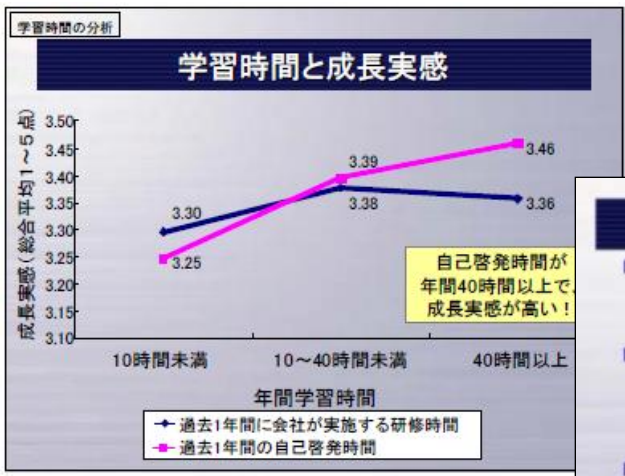


【コンセプト】

昨今、企業や組織の中で人が育ちにくくなっていると言われています。部下を指導することのモチベーションが減退してしまった上司、成長を焦って偏ったキャリア自律意識を助長させ、踏み込んだコミュニケーションを避ける若者たち。昔ながらの指導伝承型OJTの危機が叫ばれています。

本講義では、書籍「人が育つ会社をつくる—キャリア創造のマネジメント」をもとに、実際の事例や人材育成に関するQ&Aなど、映像講義の特長を活かし、わかりやすく説明します。(講義時間 合計4時間)

【講義資料より】



縦序列の指導伝承型OJTの危機

- 組織の上下関係の流動化や雇用の多様化、上下の連続性の欠落などが、指導伝承モチベーションを減退させている
- 若者の働く意識の変化が、偏ったキャリア自律意識を助長したり、踏み込んだコミュニケーションを避けたりする傾向を生み出している
- ITなどの働く環境の変化が、背中を見て育つ効果を減少させている
- 求められる能力が変化しており、上司や先輩も教えられない、あるいは指導伝承では伝わらない
- ビジョン無き繁忙による疲弊で、指導の時間やモチベーションが減退している

【テーマ】

- 第1回 人の育つ仕事と職場とは何か
- 第2回 多様な成長機会を生み出す
- 第3回 成長を生み出す新しい育成施策
- 第4回 質問編

【参考図書】

人が育つ会社をつくる～
キャリア創造のマネジメント
高橋俊介(著)

